

2. 消費収支決算の概要

平成26年度決算における帰属収支差額[E]は、120億8,200万円の支出超過となり、帰属収支差額比率[E]/[A]はグラフ2《帰属収入に対する消費支出の構成》で示すとおり▲12.6%となりました。これには、関連会社の株式評価損87億4,300万円及び収益事業会計からの特別繰入1,700万円が含まれています。

また、消費収支の均衡状態を示す当年度消費収支差額[F]は、消費収入の部[C]1,079億9,100万円と消費支出の部[D]1,078億8,100万円の差額で表され、1億1,000万円の収入超過となりました。

なお、前年度繰越消費収支差額[G]は、平成25年度決算確定により190億3,900万円の支出超過となり、当年度消費収支差額[F]1億1,000万円を足して翌年度繰越消費収支差額[H]は189億2,900万円の支出超過となりました。

◇ 消費収支計算書(法人総括)

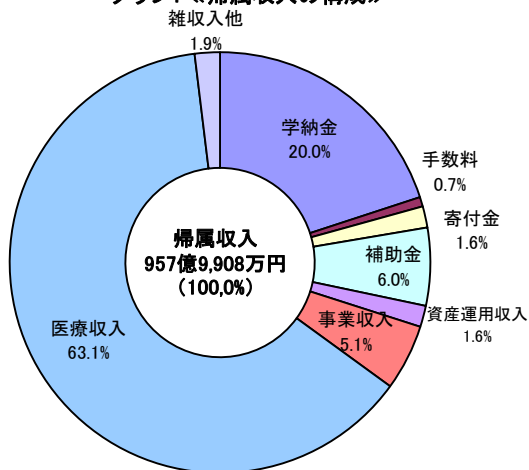
(単位:千円)

科目	平成26年度決算額①	平成25年度決算額②	増減(①-②)	比率(①/②%)
1 学生生徒等納付金	19,149,409	19,052,508	96,901	100.5%
2 手数料	698,654	720,523	▲21,869	97.0%
3 寄付金	1,569,039	1,514,720	54,319	103.6%
4 補助金	5,728,661	7,032,369	▲1,303,708	81.5%
5 資産運用収入	1,566,868	1,943,157	▲376,289	80.6%
6 資産売却差額	16,522	0	16,522	—
7 事業収入	4,858,295	5,178,858	▲320,563	93.8%
8 医療収入	60,372,586	60,859,121	▲486,535	99.2%
9 雑収入	1,839,043	1,707,981	131,062	107.7%
[A] 帰属収入合計	95,799,077	98,009,237	▲2,210,160	97.7%
[B] 基本金組入額合計	12,191,619	▲7,670,273	19,861,892	▲158.9%
[C] 消費収入の部合計([A]+[B])	107,990,696	90,338,964	17,651,732	119.5%
1 人件費	45,363,192	44,483,808	879,384	102.0%
2 教育研究経費	49,592,110	46,032,409	3,559,701	107.7%
3 (医療経費)	(21,590,113)	(21,327,452)	(262,661)	(101.2%)
4 管理経費	3,768,830	3,601,071	167,759	104.7%
5 借入金等利息	226,876	240,003	▲13,127	94.5%
6 資産処分差額	8,891,534	74,373	8,817,161	11,955.3%
7 徴収不能引当金繰入額	33,041	66,709	▲33,668	49.5%
8 徴収不能額	5,604	5,912	▲308	94.8%
[D] 消費支出の部合計	107,881,187	94,504,285	13,376,902	114.2%
[E] 当年度帰属収支差額([A]-[D])	▲12,082,110	3,504,952	▲15,587,062	▲344.7%
[F] 当年度消費収支差額([C]-[D])	109,509	▲4,165,321	4,274,830	▲2.6%
[G] 前年度繰越消費収支差額	▲19,038,503	▲14,873,182	▲4,165,321	128.0%
[H] 翌年度繰越消費支出超過額	18,928,993	19,038,503	—	—

(注) 1. 決算額は千円未満四捨五入したものである。

2. 支出の部[3(医療経費)]は、[2 教育研究経費]の内数である。

グラフ1《帰属収入の構成》



グラフ2《帰属収入に対する消費支出の構成》

